

# 第三十三回 矢沢幸賞創作詩募集

やざわ おさむ

皆さんふるって応募してください！

矢沢幸記念事業実行委員会

自分の心に問いかけてみませんか。あなたのすばらしい感性  
を見つけ出してください。

だれにもまねのできない、あなただけの心のつぶやき、心の  
たかまり、それをあなたの言葉で詩に書いてみませんか。

矢沢幸は昭和四十一年、わずか二十一才で亡くなりました。  
長い間、病苦とたたかい、死と直面しながら、だれにもわかる  
やさしい言葉で、生命力にあふれた詩を書きました。小学校を  
終わったばかりのころから中学・高校にかけてでした。

矢沢幸記念事業実行委員会では、皆さんから詩を書くことに  
親しんでもらうため、生誕五十年を記念して矢沢幸賞を設けま  
した。以来、今回で三十三回を数えます。

優秀作品には矢沢幸賞・記念レリーフ等を贈り、矢沢幸の精  
神の力強さ、優しさを永く伝えていきたいと願っています。

皆さん、ふるって応募してください。



画 中島祐子（見附市）

やさわ おさむ

# 第 33 回 矢沢 幸 賞 創作詩募集要項

## 1. 趣 旨

新潟県見附市が生んだ詩人・矢沢幸（1944 － 1966）。彼は 21 年の生涯のほとんどを死の影を負った病苦と闘いながら、上北谷小学校、三条養護学校中学部、そして栃尾高校に学び、多くの優れた詩を遺した。その作品と生涯をたたえ、彼の詩業を永く継承するとともに、広く青少年の詩心を高め、詩を発表する機会を提供するため矢沢幸賞を設けた。

## 2. 募集作品

400 字詰め原稿用紙 2 枚以内の日本語による自作の詩とし、題は自由とする。

## 3. 応募資格

全国の特別支援学校、小学校、中学校、高校の児童・生徒及び 18 才以下の青少年を対象とする。

## 4. 矢沢幸賞選考

選者 八木 忠栄（詩人、元日本現代詩人会会長、新潟日報読者文芸「詩」選者、見附市出身）

## 5. 授 賞

- (1) 最も優れた作品を矢沢幸賞最優秀賞（1 編）、それに準ずる作品を矢沢幸賞奨励賞（5 編）、入選（40 編程度）とする。
- (2) 特別支援学校・小学校・中学校・高校の児童・生徒の受賞作品は学校を通じ、青少年は本人に通知し、表彰式当日発行のパンフレット等に発表する。
- (3) 賞は、賞状及び記念品とする。

## 6. 応募上の注意・締切り・あて先等

- (1) 応募原稿は 400 字詰め原稿用紙を使い、タイプ、ワープロ、手書き、点字などいずれでもよい。常用漢字以外や読みにくい漢字には振り仮名をつける。なるべく A4 版を使用する。
- (2) 応募原稿用紙の余白等に次の事項を記入し、複数原稿のときは一緒にとじるか附番して提出する。（E-mail 可）
  - ◇ 特別支援学校・小学校・中学校・高校生は、①氏名、②学年、③学校名、④学校住所、⑤郵便番号、⑥電話番号、⑦担当教諭名、⑧学校 E-mail アドレス（③～⑧は応募校毎の記載も可）
  - ◇ 青少年は、①氏名、②年齢、③自宅住所、④郵便番号、⑤電話番号、⑥ E-mail アドレス
- (3) 応募者氏名は匿名、ペンネーム不可。受賞者名は、原則公表する。
- (4) 特別支援学校・小学校・中学校・高校の児童・生徒の応募は、なるべく学校単位で取りまとめる。
- (5) 応募は、一人一編の未発表の作品とし、生成 AI による作品の応募はできない。
- (6) 応募原稿は返却しない。
- (7) 応募締切り 令和 8 年 9 月 10 日（木）消印有効
- (8) あて先・問合わせ先

〒954-0052 見附市学校町 1-16-15 ネーブルみつけ内 矢沢幸賞係

TEL：0258-62-7801 FAX：0258-62-7810

E-mail:yazawaosamu19440507@gmail.com

※表彰式は令和 8 年 12 月 5 日（土）に予定（詳細は別途案内）しています。

主 催 矢沢幸記念事業実行委員会 (<http://yazawaosamu.com>)

後 援 申請準備中

（文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国特別支援学校長会他）